

## 会議の概要(議事録)

会議の名称	(番号)	令和3年度すみだ健康づくり総合計画中間改定検討部会 第2回「予防・健康部会」		
開催日時	令和3年7月29日(木) 午後1時半～3時			
開催場所	墨田区役所 12階 121会議室			
出席者数 (18人)	<p><b>【外部委員】</b>          公益社団法人墨田区医師会健診・検診委員会委員 福井 一人(部会長)          公益社団法人東京都向島歯科医師会 公衆衛生担当理事 木津喜 広          一般社団法人墨田区薬剤師会会長 浅尾 一夫          株式会社ルネサンス ヘルスケア事業本部 健康経営企画部 部長 樋口 毅          すみだ地域栄養ネットワーク 副会長 里見 真悟          帝京大学大学院公衆衛生学研究科 教授 福田 吉治</p> <p><b>【庁内委員】</b>          保健衛生担当副参事 平山 千富(副部会長)          国保年金課こくほ庶務係長 檜垣 雅之          国保年金課後期高齢者医療資格・給付担当主査 横張 由美          スポーツ振興課スポーツ振興担当主査 覚張 達也          生活福祉課医療係長 高山 秀樹          高齢者福祉課地域支援係長 内田 瑞穂          保健計画課健康推進担当主査 乙社 克彦          保健計画課健康推進担当主査 谷口 達也          保健計画課健康推進担当主査 古谷 米子          保健計画課健康推進担当栄養士 古川 理恵          向島保健センター保健指導係長 佐久間 陽子          道路公園課計画調整担当 飯島 洋平</p> <p><b>【事務局】</b>          保健計画課健康推進担当 松本・小林          株式会社ルネサンス、株式会社クレメンティア</p> <p><b>【欠席者】</b>          なし</p>			
	公開(傍聴できる)	部分公開(部分傍聴できる)	傍聴者数	なし
	非公開(傍聴できない)			
議 題	1 開会 2 保健衛生担当副参事 挨拶 3 議事 (1) 前回の振り返りと施策体系等の変更点 (2) 基本目標 の施策と事業について (3) 事業と指標の関連について (4) その他 4 閉会			

配布資料	1 すみだ健康づくり総合計画中間改定検討部会「予防・健康部会」委員名簿 2 第1回「予防・健康部会」議事録 3 ご意見・ご質問シートまとめ 4 すみだ健康づくり総合計画 施策の体系【修正版】 5 すみだ健康づくり総合計画事業一覧 6 事業と指標の関連について 7 基本目標 改定案【修正版】 8 ご意見・ご質問シート 9 「わたし×すみだ」の健康と未来を考えるワークショップ ご案内【参考資料】 10 歯科健診データ【参考資料】 【参考】 すみだ健康づくり総合計画
------	--

会議概要	1 開会 2 保健衛生担当副参事 挨拶 3 議事 (1) 前回の振り返りと施策体系等の変更点 資料2～4に基づき、変更点を説明 (2) 基本目標 の施策と事業について 資料5に基づき、施策と事業を説明  - <u>生活習慣病の発症と重症化予防</u> - <u>がん対策の推進</u> 【意見・質問等】 福井委員 : 生活習慣病の発症と重症化予防について、このところ随分進んだのがデータヘルス。国保の患者さん中心に健診データと通院履歴等を確認できる状況で、どこまで医療の届いているかが個人レベルで把握できるようになっている。ただ、前回は話したように、特に若い世代は、国保から社保に移っており、把握しきれないことが懸念されている。データヘルスの先行きに関して、今後国の施策などもっと進められることがあるのかどうか伺いたい。 檜垣委員 : 現行のデータヘルス計画は、毎年PDCAサイクルで評価を行っている。昨年度、中間評価を実施し、その中で計画自体は大きな改定は行っていない。現行の掲載事業について、よりブラッシュアップし、対象者により効果的な事業ができるよう進めていく。次期は令和5年度に改定を行う。そこで、今回の検討内容も踏まえ、更に計画を充実させていきたいと思う。 福井委員 : マイナポータルで、健康保険や居住地が変わっても自分の健康記録が見られるようになるのか。
------	---

- 檜垣委員 : 当初は、本年3月からオンライン資格確認が導入され、マイナンバーカードの保険証利用開始により、マイナポータルで自身の健診の記録や薬剤投与の履歴が確認できる予定だった。スケジュールが遅れ、10月から本格実施予定。国保・後期高齢者医療制度の分は、当初からデータが入っていると聞いている。保険者間の引継ぎは、本人が拒否しない限り可能。今後保険が変わってもデータの引継ぎはより簡易に行える形になると思う。しかし、国保と後期以外のデータはまだ反映されていないようである。どの時点で反映されるのか不明。全ての保険者のデータが入ってこないと有効に機能しない。
- 福井委員 : 一般の健診については医療機関が関わっているが、健康づくりの面で、何か薬局で取り組んでいることはないか。
- 浅尾委員 : 健康サポート薬局という仕組みがある。3月末時点で全国で2,515件、東京都で291件、墨田区で12件登録されている。23区内では墨田区は多いほうである。こうした健康サポート薬局では、1年を通して何らかの健康イベントを行っている。区内の健康サポート薬局でも、今年の6月1日～7日に「薬局へいこうウィーク」と題したイベントを実施し、墨田区のウォーキングマップを23薬局で640部配布した。今後、秋に実施されるウォーキングチャレンジも、薬剤師会の中で会員薬局同士のイベントとして、ゲーム性を持たせて楽しんで事業に参加できるようにしたいと考えている。また、7つのロコモチェックを福岡市薬剤師会と合同で実施した。墨田区の患者140名にアンケートを取った。結果は後日共有させていただく。
- 福井委員 : 続いて、がん対策について伺いたい。コロナの影響等で、がん検診受診率の低下や、がんの手術件数が減り、がんの進行が放置されているのではないかと、言われている。どこにどのような働きかけをするのが有効か。
- 乙社委員 : 昨年度はコロナの影響で受診率は落ちた。全国では7割減だったが、墨田区は医師会の協力で休診期間を長くしなかったこともあり、また、夏以降は受診勧奨も行い、胃がん検診以外は、例年並みに戻っている。今後もコロナが続く中で、受診率向上だけでなく、精度管理（管理・把握・精密検査への促し等）に力を入れ、がん検診の質の向上に取り組んでいきたい。
- 福井委員 : 要精密検査となった場合の精密検査受診の動機付けが重要と感じている。ここまでで福田委員から何かご意見があれば伺いたい。
- 福田委員 : 先ほどの薬剤師会の取組みは素晴らしいと思う。計画の中の事業として、このような薬剤師会の取組みを盛り込むのかどうかは決めておいた方がよい。サポート薬局を何年後に何件にする等目標にも関わってくる。また、資料5の中で、内容が具体的なものとそうでないものがある。具体的な事業があればそれを記載したほうが、後で評価しやすいのでは。内容部分の書き方についても、「 するため、 を実施します。」といった表現で統一すると評価しやすいと感じた。

## - 健康的な食環境づくり

### 【意見・質問等】

福井委員 : 今は自炊だけでなく、中食や外食を利用されている方が多いが、栄養バランスの連携指標を、区として何か提示・共有するような取組みはできないものか。

里見委員 : 今回改定案に記載されている高齢者配食みまもりサービスは、特に独居の方が自分で料理するのが難しい場合等に栄養指導等でも活用させてもらっている。安全に生活できているか、困ったことはないか、倒れていないか等確認していただけるので、勧めやすい。高齢者配食見まもりサービスが計画に盛り込まれたのは良いことだと思う。献立もバランス良く、咀嚼や嚥下機能に合わせた食形態が選べるようになっている。栄養士間でも情報共有が出来ると良いと考えている。  
区のホームページにも掲載されているが、困っている方がいれば情報を届けられれば、と考えている。

福井委員 : 配食のサービスの話がでたので、高齢者福祉課のほうから補足があればお願いしたい。

内田委員 : 高齢者配食見守りサービスは、現在30万食(事務局修正)が出ている。みまもりの目的が先にあり導入した制度だが、食事也非常に重要。タンパク質やカロリー調整食、刻みやムース状のものなどを用意している。参入事業者には、多種多様な食事を用意できることを要件とし、栄養士の実食などもして選定している。安全安心に少しでも楽しく食事できるようにしている。最近は、朝食のパンの提供や、お薬の声かけ、買い物の手伝いをしてくれる事業者もある。食は非常に重要なので、より多くの方に利用いただきたいと考えている。

福井委員 : 墨田区の人口構成を考えると高齢者に視点がいくが、若い人・子どもも含め、ターゲットが絞りにくい、この世代は難しいなど、ライフコースを意識した食環境づくりを行う上で、何か取組があれば伺いたい。

古川委員 : 学校に行っている期間は給食が提供されるので、栄養バランス等も考慮された食事が比較的摂取できている。しかし、大学以降は時間がなく、好きなものが食べられる環境になってしまい、偏りが生じてしまう。そこで今回、計画にも大学との連携を追加した。  
ターゲットを絞るのは難しいが、サポートができていない世代にターゲットを絞って事業を展開していければと考えている。

## - 身体活動・運動の推進

### 【意見・質問等】

樋口委員 : スポーツ・運動できる場の整備が推進されていると感じた。場の提供は非常に重要だと感じている。取組として、これを誰に届けるかのターゲットが具体的な施策に落とす際には必要と考える。例えば、公園であれば、どのような方をメインターゲットにするのか。高齢者なのか

就労世代なので、打ち出し方が変わってくる。

昨年1年間でスポーツ人口が8%増えている。テレワークの影響で、自宅で働く人が増え、運動をし始めたようである。同時に、健康格差が拡大している。高齢者の巣ごもりや、介護施設に指導者が行けず運動ができない等運動を必要としている方にどのように運動を届けていくかも重要。場の提供も重要だが、「健康増進のきっかけづくり」の中で、いかに情報提供するかも重要。昨今では、オンラインでの動画の配信など、コンテンツ・ツールを使った啓発という流れも出ている。コロナ禍が続く中で、情報提供の仕組みづくりも重要と考える。

福井委員 : スポーツを推進する部署として、覚張委員にもお話を伺いたい。

覚張委員 : 高齢者スポーツ事業は、緊急事態宣言で実施できなかった際に、再開を望む声と、休止を望む声に分かれた。再開したところ、感染症対策をしっかりと講じていれば来ていただけている。現在は、コロナ禍で実施できていなかった事業を再開させていくためのサポートを行っている。巣ごもりの影響で、事業を再開した際に、杖をついてくるようになった方もいた。スポーツ・健康づくりは重要。やめるのは簡単だが、今まで休止していた事業を再開していくところから始めていきたいと考えている。特に就労世代では、運動したいが忙しくてできない方も多いため、各施設で、対象に合わせた時間にプログラムも実施している。PR方法含めて考えていきたい。

福井委員 : 運動習慣化の中での公園整備について情報があればいただきたい。

飯島委員 : 公園もコロナの影響を大きく受けている。密になるから公園を閉鎖した方が良いといった意見もあれば、外出自粛で遠出ができないため、公園を活用してほしいといった意見もあった。新しい生活様式に合わせた公園づくりをどのように行っていくのが課題と考えている。  
また、健康遊具の設置や、保育園児が良く利用しているところは、幼児向けの遊具を多く置くなど特徴のある公園づくりも進めている。さらに、ボール遊びやスケートボードができる公園の整備など様々な要望があるので、うまく反映させていきたいと考えている。

#### - 歯・口腔の健康づくり

##### 【意見・質問等】

福井委員 : 8020運動は以前から行っている取組だと思うが、子どもの歯の状況に関しての現状について伺いたい。

古谷委員 : 保育園、幼稚園、学校との連携の重要性がわかる資料をお持ちした(参考資料 歯科健診データ参照)。3歳児の虫歯有病者率は東京都で10番目となる5.9%だが、12歳児の一人平均虫歯の数は0.94本で23区中最下位となってしまう。また、今回5歳児の保育所と幼稚園の歯科検診の結果を調べたところ、令和元年の有病者率は30.5%となり、特別区の平均である24.9%と差がついてしまっている。

単純比較はできないものの、3歳児のデータと比較すると、いずれも悩ま

しい状況である。

福井委員 : このデータも含め、今後の取組について伺いたい。

木津喜委員 : 3歳児以降から急激に、う蝕(むし歯)の有病者率が上がっている。3歳までは区の取組が大きいと考えている。3歳以降は、20歳からの成人歯科健診まで目立った健診はなく、保育園や学校嘱託歯科医、学校歯科医、教育委員会が主幹になりデータ共有ができていない部分がある。3歳以降も、もっとデータを共有していただけたら、う蝕の子どもの有病率も下がるのでは。

また、向島歯科医師会では、小学校を3~4校ピックアップし、巡回指導をしている。そうしたことで、子どものモチベーションがアップしているのでは、と感じている。是非、区の制度として墨田区全体としてやってほしい。

#### **- フレイル予防の推進**

##### **【意見・質問等】**

福井委員 : 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施については非常に大きなものなので、高齢者福祉課から補足があればお願いしたい。

内田委員 : ポピュレーションアプローチを開始予定。10月以降歯科衛生士や栄養士に、通いの場へ訪問してもらい、短時間で講話や受診勧奨を行う予定。

一方で、高齢者見まもり相談室では、4月からKDBシステム(国保データベースシステム)を活用し、健康状態不明者の調査を行っている。現在までのところ、956名中408名の調査が完了。この取組により、見まもり相談室でも新たな気づきがあった。今まで、家族が同居している方については、調査等を行っていなかったが、家族が同居していても医療に全く繋がっていなかったり、受診に偏りがあつたりする方もいた。全員のデータを分析ができれば、1ステップ見まもりの質も上がると考えている。

#### **(3) 事業と指標の関連について**

資料6に基づき、事業と指標の関連について説明

福井委員 : 本項目と、全体を通してのご意見を福田委員に伺いたい。

福田委員 : 資料6はすごく良いものだと思う。アウトカムの指標は動かすのに時間がかかるので、アウトプット指標も明確にするのは素晴らしいと感じた。空欄のところは、何をやるか具体的なものを決められれば、それに応じたKPIが決まると思う。わからない場合は、今後検討すれば良い。薬局や医療機関の取組や医療機関の取組等、計画の中に関連機関の指標も入れるか、行政のことだけにするかについては検討いただきたい。

#### **(4) その他**

	<p>資料9に基づき、ワークショップのご案内</p> <p>福井委員：以上をもって、本日の議事はすべて終了とする。</p> <p>4 閉会</p> <p>平山副参事：今回の会議において、追加のご意見、ご質問などあれば、事務局までご連絡を賜りたい。皆様のご意見を踏まえて引き続き計画案の改定作業を進めていく。作業部会は本日で終了とさせていただくが、引き続き改定作業についてはご協力を賜りたい。</p> <p>以上をもって令和3年度「すみだ健康づくり総合計画中間改定検討部会第2回『予防・健康部会』」を終了する。</p> <hr/> <p>会議の概要は以上である。</p>
<p>所 管 課</p>	<p>福祉保健部 保健衛生担当 保健計画課</p>